

## 協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。

※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。

※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	University of Leeds	氏名	
国名	イギリス	学籍番号	
留学期間	2019年 8月 ~ 2020年 7(4)月	記入年月日	2020年 7月 21日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: ビジネス			
科目名	English through Interpersonal Communication	科目名	Elementary Mandarin
授業内容	人、または自分自身とコミュニケーションをとる際における自分の長所、短所を見つける。現地のイギリス人がどのように他の国の人とコミュニケーションをとっているのかをグループワークを通して学ぶ。	授業内容	書く、話す、読む、聞く、の4技能全てをレベルアップさせる。中国への興味を深め、社会的、文化的、言語的差異を見つける。
授業形式	セミナー、グループディスカッション	授業形式	セミナー
単位数	10credits	単位数	20credits
サイズ	約20人/1週間に1回、2時間	サイズ	約20人/1週間に1回、2時間
難易度 Course No.	初級	難易度 Course No.	中級
宿題の量	指定されたテキストを読む、日記をつける(普通)	宿題の量	セッション毎に作られたプリント、単語(普通)
コメント	先生は優しい50代のイギリス人でした。大学の授業というよりは、大学が始まる前のpre-sessional courseに似たようなもので、各国からの学生(中国、韓国、ドイツ、イタリアなど)と、ディスカッションを繰り返し、コミュニケーションをとる上で大事なことを学び、また、自国とその学生たちの国とのコミュニケーションの違いを見つけ合いました。とてもアットホームなクラスで、発言や質問をしやすい雰囲気でした。授業後には皆でカフェに行ったり、ご飯を食べに行ったりしました。	コメント	授業は英語で行われました。簡単なコミュニケーションや指示は中国語が使われました。クラスメートはイギリス人、スペイン人、ベトナム人、韓国人がおり、皆初級の中国語はマスターしていました。中国人の先生は生徒とのコミュニケーションを大事にしており、気軽に話しかけてきてくれました。そのため、分からないところがあってもすぐに質問しやすかったです。
科目名	Innovation and Creativity in Business	科目名	Introduction to Management
授業内容	どのようにして画期的なアイデアが生まれるのか、どうすれば創造性が培われるのかを学ぶ。自分の能力を知り、それを効率的に利用する手段を探る。	授業内容	ビジネスにおける、部下への創造、計画、統制、導き、率先の重要な部分について学ぶ。マネジメント学を歴史的に辿り、今のそれと比較する。
授業形式	レクチャー、グループディスカッション	授業形式	レクチャー、セミナー、グループディスカッション
単位数	10credits	単位数	10credits
サイズ	約150人(グループは6人)/週1回2時間	サイズ	約260人(グループは4人)/週2回各1時間
難易度 Course No.	中級	難易度 Course No.	上級
宿題の量	指定された動画を観る、グループワーク(多い)	宿題の量	指定されたテキストを読む、グループワーク(多い)
コメント	個人的には一番面白いと感じた授業でした。最終的な課題は、ビジネスにおいて、新人に対する漸進的で画期的な教育方法をグループで話し合い、1つ生み出すというものでした。そのためには斬新なアイデアが必要であり、自分の創造性を高めることが必要でした。また、グループワークにおいて、効率的に意見を出し合う方法も学び、それをうまく利用しながら話し合いを進めていくので、学んだことを活かしているという感覚が楽しかったです。	コメント	人から信頼を持たれながらも人を統制することはとても難しく感じました。完全統制するために自分の価値観を押し付ける方法では、自分は結果的に満足かもしれませんが、長期的に見るとその枠組みは崩れてしまうでしょう。そういった繊細なバランスを上手く調整する方法を学びました。グループワークで、実際に様々なマネージャーにインタビューをし、その企業の統制方法の善し悪しを話し合い、改善策を出し合いました。

科目名	Global Entrepreneurship	科目名	Contemporary Business Environment
授業内容	起業家が国境を越えて会社を大きくするための理解を意識を高める。	授業内容	環境、社会、文化、敵会社といった外的要因によって、どのように企業の方針や持続性に変化するのかを学ぶ。
授業形式	レクチャー、セミナー	授業形式	レクチャー
単位数	10credits	単位数	20credits
サイズ	約180人(グループは5人)/週2回各1時間	サイズ	約220人/週1回2時間
難易度 Course No.	上級	難易度 Course No.	中級
宿題の量	指定された論文を読む、自分の意見を書く(多い)	宿題の量	企業研究(多い)
コメント	正直、この授業はsemester2が始まる前に何の授業を取るか迷っており、他に興味があるもので、資格がなくても受講ができる授業がなかったので、友達と一緒に受けられるものを選びました。起業については知識も乏しく、不安でしたが、前述したntroduction to Managementに通じるものが多く、そこで得た知識をこの授業でも活用することができたので嬉しかったです。	コメント	世界には膨大な数の企業があるわけで、敵会社に打ち勝つための戦略、方針をどのようにして生み出すのかを学びました。敵は誰なのか、どこにいるのか、それらとはどのようにして競り合っているのか、自分には何ができるのか、そのような、根本的な問題をまず明らかにするとが大切であるということが分かりました。また、問題面を知るための方法としては、semester1で学んだ方法が使われ、ここでも点と点がつながりました。
科目名	Organisational Behaviour	科目名	Management Work and Organisation
授業内容	ビジネスにおける人間の振る舞い方を労働者、グループ、企業そのものの視点から考察する。	授業内容	社会的理念と照らし合わせ、職場環境を改善する方法を学ぶ。
授業形式	レクチャー、セミナー	授業形式	レクチャー、セミナー
単位数	20credits	単位数	10credits
サイズ	約480人(グループは4人)/週2回各1時間	サイズ	約80人(グループは6人)/週2回各1時間
難易度 Course No.	中級	難易度 Course No.	上級
宿題の量	指定されたテキストを読む、グループワーク(多い)	宿題の量	指定された論文を読む(多い)
コメント	ビジネスにおける基本の授業でした。Semester1から受けていたので、この授業で基本的な知識を養うことができたので、他のビジネスの授業も大きな問題もなく受けられたのだと思います。この授業で初めて「グループレポート」を書きました。その課題内容はビジネスにおける1手法についてのものでしたが、内容だけでなく、グループで1つの作業をすることにも意味があったのではないかと思います。	コメント	ビジネスだけに焦点を当てるのではなく、ビジネスにおける問題として、ジェンダー、人種などの差別といった社会的な問題も取り入れた授業でした。教授は中国人とイタリア人で、英語に訛りがあってかなり聞き辛かったです…。また、毎週読んでくる論文の量が膨大で、他の授業の予習もしていると、睡眠時間を削るしかない日が続きました。
科目名	Introduction to Psychology	科目名	
授業内容	意識、脳と心の関係性、精神的健康について学ぶ。	授業内容	
授業形式	レクチャー	授業形式	
単位数	10credits	単位数	
サイズ	約300人/週1回1時間	サイズ	
難易度 Course No.	初級	難易度 Course No.	
宿題の量	指定されたテキストを読む(普通)	宿題の量	
コメント	大学1年生の時に津田塾で心理学を履修しており、その時はただ受動的に授業を聞いており、今思えば面白い内容だったのに、勿体ないころをしたなと思っていました。内容は異なりますがリベンジとしてリーズ大学の心理学も受けてみようと思いました。	コメント	



6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険	
	ジェイアイ傷害火災保険	
	留学先大学にあった医療保険制度	
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)	
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)	
	(現地通貨)	
	渡航旅費	180,000 円
	帰国旅費	280,000 円
	引越し(往復で)	7,000 円
	保険	175,000 円
	語学研修費	280,000 円
	留学先学費	2,000,000 円
	本学学費	円
	教材費	20,000 円
	住居費	900,000 円
	食費	200,000 円
	その他( )	円
	( )	円
	( )	円
	合計	4,042,000 円
	換算率 ( 1 英鎊 = 135 円)	
	受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください	
	津田塾大学海外留学奨学金 20万円	
8	留学前の準備について教えてください	
	日本から持参すべきもの	
	<p>ほとんど全てのものはリーズの中心街で揃うので、特別持参すべきものはないです。しいて言えば、フラットメイトとの話題にするために日本独自のお土産(扇子やお菓子)は持って行ってもよいのではないのでしょうか。また、海外の薬は日本人の身体に合わないことがあると思うので、常備薬は多めに持参した方がよいと思います。本当かどうかは分かりませんが、イギリス人の先生が、日本人が風邪をひいてイギリスの風邪薬を飲むと、効用が強すぎてもっと体調が悪くなると言っていました。</p>	
	留学前にしておけばよかったこと	
	<p>私の専攻はビジネスで、日常的な英語とはまた違う英語を用いたり、聞いたことがない英単語が授業内で飛び交っていました。理解するためにはその都度英単語を調べなければいけなかったのも、もっと日本にいるうちからビジネス英語の基礎知識をつけていたらよかったかなと思います。</p>	

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>私は幼い頃から、夏休みは両親と海外で過ごしており、海外生活には慣れていたので、適応しにくかったことは生活面ではありません。学習面から言えば、2018年の夏に3か月間、イギリスのケンブリッジで語学学校に通っていたのですが、やはり、語学学校と大学ではレベルが違ふと感じました。課題の量や英語のスキル、また生徒の学習に対する態度にも圧倒されました。しかし、津田塾大学での毎日の英語の予習で鍛えられてきた集中力と忍耐力が、リーズ大学での勉強を手助けしたと思います。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>前述したように、リーズ大学の生徒の学習に対する態度は、日本で見るものとは全く異なっていました。日本では、グループワークをする際に、課題や予習をしておらず、話し合いに入ることができない生徒が少なからず見受けられますが、リーズ大学では、皆が当たり前のように予習をしており、また、予習の範囲を超えて、授業内容に対する疑問点、自分の意見を携えて毎回の授業に参加していました。与えられた課題だけをこなし、席に座っている自分が恥ずかしくなりました。そこから、私は予習でなく、次の授業で扱う内容を含むサイトを探し、なるべく様々なことに疑問を持つように心がけました。また、私は留学を通して、精神が強くなったと感じています。私は以前は優柔不断で、人の意見に流されたり、人任せにすることが多かったのですが、自分の意見をしっかり持つこと、や決断力を持つことが大事であると学びました。例えば、引っ越しを決断した時や、コロナが蔓延する前にイギリスを離れることを決断した時です。後悔する可能性もあるのだろうな、と思っていましたが、今また振り返ってみると、自分自身がした決断には納得がいくことに気付きました。留学中にした全ての経験が自分自身の力になっているのだと思います。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>コロナウイルスの関係で、帰国が3か月早まり、急に日本での生活に戻りました。帰国したとき、周囲から聞こえてくる日本語が雑音のように聞こえました。恐らく、イギリスでせっかく培った英語能力を失いたくないと感じたのだと思います。英語能力が落ちるスピードは速いと言われていたので、そうならないために、英語のニュースや海外ドラマを見たり、イギリスでできた友達とメールや電話をしたりしています。進路については、この英語能力はもちろん、リーズ大学で専攻していたビジネス学を活かし、日本の製品を海外に売りつける仕事に就きたいと考えています。従来の方法に囚われず、画期的で創造性のあるアイデアを生み出すことのできる人間になるように精進します。また、急な家庭の事情で、地元に戻り、家の仕事を手伝いつつ、働くという選択肢も出ており、そうした場合における対処法として、地域観光の活性化に携わることができる仕事にも就くことも頭に入れていきます。私の地元は国際交流があまり盛んでなく、観光客も少ないです。しかし、私は私の地元の良さをたくさん知っているのです。それを内部に留めておくだけではなく、外部にも発信したいと考えています。市から県へ、県から国へ、国から世界へ、そのよさを知ってもらうためにも、英語を使って宣伝したいと考えています。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>留学は、自分自身をリスタートさせるきっかけを与えてくれると思います。例えば、引っ込み思案な人、自分に自信のない人、優柔不断な人。日本にいても、それを克服する機会はあるかもしれません。しかし、留学ほど大きなチャンスはあまりないと思います。留学、舞台は異国の地です。はじめのうちは委縮してしまうかもしれませんが、そのうち、「せっかく来たのだから、ちょっとだけでも頑張ってみるか〜！」という気持ちになります。その「ちょっとだけ」が、自分をステップアップさせる第一歩です。第一歩を踏み出したことで自信がつき、「もうちょっと」、「もう一息！」とどんどん自分を高めてくれると思います。「留学」それ自体が自分を成長させてくれるものではありません。自分が少し歩み寄れば、様々な選択肢が見えてくる、ということです。その点では、少しばかりは努力する必要があります。新しい土地、新しい学校、新しい友好関係。失敗をしてしまうこともあります。私もありました。最初は失敗を恥じ、恐れていましたが、たくさん失敗をしていくうちに慣れました。帰国をして、少し困難な状況に陥っても、「留学のあの時の方が辛かったしな〜」と思うことが多々あります。こんな楽観的な考え方になったのも留学のおかげかなと思っています。失敗を恐れないことが大切です。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>毎日勉強に追われていましたが、夢のように楽しい留学でした。これからの津田塾大学での勉強、就職活動も、留学先と同じ態度で、真摯に取り組んでいきたいと思っています。</p>

大学の図書館



大学のメインの建物



フラットメイトと節分パーティー



中心街の役所



フラットメイトとプレゼント交換

